

# 与えられた職務に「やりがい」をもって 真摯に取り組んでまいります

たかがい恵美子 参議院議員



公開シンポジウム「女性が輝く社会の実現に向けて」



上/第三次安倍内閣では厚生労働大臣政務官に再任  
左/第三次安倍内閣厚生労働大臣政務官の辞令

\*

麗春の候、健やかに過ごさしめと存じます。新しい職場や新しい学校、それぞれの新しい生活に胸を躍らせている方も多いことでしょう。

国会では第三次安倍内閣における新たな政策に係る審議が本格化しています。昨年来続くテロリスト等による非道な事件の数々に対しては断固抗議し、この虐殺犯を決して許さない決意を共有し、政府与党が一丸となって政務に励んでおります。

また本年は戦後70年、阪神淡路大震

災発生後20年を迎えており、我が国にとって歴史的にも文化的にも大きな節目です。私たちは過去の積み重ねを継承して日本を守り、未来への希望を創り出していく同志でもあります。この時代とともに生きる一人ひとりを大切にし、お互いの知恵を出し合ってまいります。

## 再度、女性の健康の包括的支援に関する法律案の成立を目指して

参議院本会議(2月18日)の総理所信に対する審議では、先の国会で廃案となった、女性の健康の包括的支援に関する法律案の対応如何が取り上げられました。

与党代表者は「女性活躍の基盤づくりを、政府をあげて推進するよう望む。

女性活躍の基盤は何といても健康。

議員立法で出す予定の法案の成立も実現させたい。すべての女性の輝く社会を目指すのであれば、光が当たる活躍推進だけでなく、社会の中で悪戦苦闘している人々の問題にも積極的に対応していただきたい」と質問しました。

総理は「私が目指しているのは、すべての女性が生き方に自信と誇りを持ち、輝くことができる社会です。……心身の健康は女性が活躍する基礎となるものです。超党派で提案されている女性の健康に係る議員立法の趣旨も十分踏まえつつ、政府としても女性の健康に係る相談支援サービスの充実に努めてまいります」と、明快に答弁なさいました。

本会議場内で私が指定されている現在の議席は最前列中央に位置していま



す。この法案を是非とも参議院で再生(リボン)させ、何としてもこの国会で成立させたい!と活動している私にとっては、この上ない励ましをいただいたようなものです。

幸いなことに、一部始終を議場内の最も近い席から見届ける機会にも恵まれました。成立までには幾多の難関をクリアしなければなりません。が、真の健康長寿への道・未来への扉をひらくためにも、賛同者のお力添えを得ながら粘り強く交渉を進めてまいります。



上／千葉県内療養型病院を訪問  
右／千葉県内の急性期病院を訪問



群馬県にて厚生労働大臣政務官として保育施設を視察



岩手・宮城・福島の連盟役員の皆様が生労働省内の政務官室にご来訪

厚生労働大臣政務官の仕事にも  
真摯に取り組んでおります

厚生労働大臣政務官の職については、第三次安倍内閣においても引き続き務めさせていただく運びとなりました。とりわけ労働・雇用の分野は課題が山積しており、しかもまだほとんど手つかずと思われる領域がたくさんあります。まさしく存分にやりがいを感じることができる職位を与えていただいたことに感謝しつつ、真摯に課題と向き合っており、その解決のために実効ある政策を提案してまいります。

また3月6日には岩手県、宮城県、福島県から看護連盟役員の皆さまが政務官室にお出でになり、意見交換させていただきました。



大臣政務官会議課題別検討グループ

看護職の職場復帰をかなえるための保育対策の充実や優先入所・保育料の減免措置を実現する、親の介護をしながらでも勤務を続けることができるよう労働環境を改善するなど、私たちの抱える課題は現実的で深刻なものばかりです。これは恐らく、他の職種で働く女性においても共通する問題です。現場の声を丁寧に関き、国、都道府県、市町村がそれぞれに担うことのできる施策を具体化していくことが、社会保障の現場で働く私たちの日々の問題を確実に解決することにつながることを認識しています。これからも力を合わせて、あきらめずに現場の声を届けてまいります。

中央省庁内ではまもなく来年度の予算編成に向けた議論が活発に動き出しますし、診療報酬改定作業の準備も始



たかがい塾：東京医科歯科大学大学院の皆様と

まります。政務官として国会審議に傾注するのみならず、これら行政事務についても、いのちを守る看護の視点を適切に反映し、国民の福祉の向上に資する政策を実現してまいります。

政府全体としての新たな政策構想を練り上げる作業にも関わらせていただいております。大臣政務官会議課題別検討グループでは、「若者の活躍支援」「高齢者の活躍支援」「ものづくり技術の発信」について、省庁横断的に議論を進めています。私は課題2(高齢者)グループの世話役に指名されました。これから夏にかけて、新たな政策のとりまとめに真摯に取り組んでまいります。



たかがい塾：日本赤十字病院附属看護大学大学院の皆様と